

公益社団法人米原市シルバー人材センター

令和5年度(2023)事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

I.事業概況

令和5年度の我が国の経済は、3年以上にわたるコロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻してきたなか、企業の業況や収益の改善が進んでいるものの、その好調さが必ずしも十分に賃金や投資に回っておらず、内需は力強さを欠いている。先行きのリスク要因として、海外景気の下振れリスク等には注意が必要であり、さらに国内外で発生している地震の経済に与える影響にも十分留意する必要がある。

一方、令和5年10月より実施されたインボイス制度やフリーランス新法に係る契約方法の見直し等々シルバー人材センター事業は、非常に厳しい状況下に置かれております。

このような状況下において、米原市シルバー人材センターは、令和5年度の登録会員数および契約金額については前年を超えることができましたが、就業延べ人員・受注件数については課題が残る結果となりました。引き続き、新規開拓や会員募集に努め、地域高齢者の就業意欲の受け皿としての役割を果たしてまいります。

今後とも安全・適正就業に重点を置き、会員増強と育成に注力し法令順守の組織運営に努め地域社会に貢献いたします。

令和5年度の事業内容は以下のとおりです。

項目	令和5年度	令和4年度	対前年比(%)
会員数	837人	811人	103.2%
契約金額	426,713,991円	410,335,500円	104.0%
*うち派遣事業	118,327,491円	120,147,418円	98.5%
就業延べ人員	83,945人	88,537人	94.8%
*うち派遣事業	18,408人	19,228人	95.7%

II.事業詳細

(1) 安全で適正な就業の徹底について

安全就業への取り組みは、シルバー事業運営における最重要課題と位置付けており各種講習会等によって会員の安全意識の向上を図り、安全・適正就業委員会を中心に事故防止対策を実施してまいりました。

しかしながら、令和5年度の事故状況は、安全メール等にてお知らせいたしました通り、物損事故は「9件」、傷害事故は「5件」発生いたしました。その内訳は、物損事故においては車両に係る事故が「6件」、剪定に係る事故が「2件」、襖の張替えに係る事故が「1件」でした。一方傷害事故は、除草作業中での事故が「3件」、通勤途上(帰路)での事故が「1件」、その他「1件」でした。令和5年度の夏季は特に気温が高くなり体調に不安を感じられた方も多かったと報告されております。今後は、このような気温の高い状況が続くと思われますので、就業中の体調管理はもとより、行政等が実施する健康診断は必ず受診いただき体調管理に努めていただきたい。

令和5年度より、安全教育を徹底するため新入会員を対象として2か月に1回の頻度で「新入会員安全教育」を実施し、安全基準や事故事例を中心に学び、安全就業への思いを強くしていただきました。

また令和5年度も「安全標語」の募集を行い、多数の応募をいただき、安全・適正就業委員会において、最優秀賞1件、優秀賞2件、入選3件を選考し12月の「安全メール」にて全会員の皆様にお知らせいたしました。

最優秀賞は「作業時は 焦らず 急がず 丁寧に」に決定し、令和6年度の「米原市シルバー人材センター安全のスローガン」とさせていただきます。

令和5年度の安全大会は、11月に近江学びあいステーションにて安全標語の表彰式等を会員の皆様出席のもと開催することができました。

一方、適正就業の推進については施設管理などの就業について「施設管理等就業基準」を遵守し、適正かつ公平な就業に努めました。

(2) 会員の増強活動について

定期的な入会説明会を、事務所と近江母の郷コミュニティハウスで毎週月曜日午後1時30分から実施いたしました。

就業相談については、毎週月曜日午前10時より事務所と近江母の郷コミュニティハウスで、また山東および近江学びあいステーションでも開催して、悩み事相談などを行い、就業先などのよりよい環境づくりに努めました。

ホームページについては、活動状況、お仕事情報、イベント情報などタイムリーにお知らせをすることにより幅広い啓発を行いました。普及啓発活動として、10月に米原市内4か所でシルバーのPR活動を実施し、1月には広報誌の全戸配布、会員募集等のチラシも新聞折り込み等を活用し実施しました。令和5年度の入会者数は、94名(男性45名、女性49名)となり、粗入会率は6.04%となりました。

(3) 就業開拓・提供事業について

令和5年度の受託事業は、公共関係が前年比850千円の減、民間事業関係は前年比21,108千円の増、一般家庭については前年比2,059千円の減となり令和5年度の契約額は18,198千円の増額となりました。労働者派遣事業は1,819千円の減となり契約金額では前年比16,377千円の増額となりました。受託事業では、コロナ関連の消毒、清掃業務の受注減、労働者派遣事業においては、マイナンバーカード関連業務の受注減がありますが、民間事業関係の受注増によって契約金額は前年比増となりました。

令和5年度の受託事業および就業率等については次のとおりです。

受託事業	当期契約額(円)	前期契約額(円)	増減額(円)
公共関係	56,370,470	57,220,504	△850,034
民間事業所関係	211,262,258	190,154,080	21,108,178
一般家庭	40,753,772	42,813,498	△2,059,726
計	308,386,500	290,188,082	18,198,418
労働者派遣事業	118,327,491	120,147,418	△1,819,927
契約金額	426,713,991	410,335,500	16,378,491

●就業延べ人員

	令和5年度(人日)	令和4年度(人日)	増減(人日)
受託事業	65,537	69,309	△3,772
派遣事業	18,408	19,228	△820
計	83,945	88,537	△4,592

●就業率(受託のみ)

	会員数(人)	就業実人員(人)	就業率(%)
男性	509	398	78.2
女性	328	285	86.9
計	837	683	81.6

●就業率(派遣含む)

	会員数(人)	就業実人員(人)	就業率(%)
男性	509	461	90.6
女性	328	309	94.2
計	837	770	92.0

(4)市指定管理業務について

指定管理3年目の令和5年度は、坂田駅利用者のサービス向上と米原市民の憩いの場として「田んぼっ湖カフェ」を継続して運営いたしました。11月には「六周年記念まいどおおきにセール」を開催いたしました。

令和5年度は、坂田駅前のロータリーおよびシェルターの工事が実施され、その期間中については駅利用者の安全を確保するための対策(業者との打ち合わせ等)を行いました。

また、坂田駅就業者は、毎月定例会を実施し課題等を確認して米原市担当課およびシルバー事務局と連携しながらサービスの向上に努めました。

この市指定管理業務は、令和5年度にて終了となり令和6年度より請負業務としての契約を締結いたしました。ただし、田んぼっ湖カフェについては従来通りの契約内容となります。

(5) 普及啓発事業について

会員増強およびシルバー人材センターのPR活動として、社会福祉協議会主催の「ほおずき市」に7名が参加し刃物研ぎを実施し好評を得ました。8月に米原市役所にて「スマそこ会」を実施し、スマートフォンの扱いに不慣れなシルバー会員のため米原高校生の方々に懇切丁寧に指導していただき大好評でした。また、米原市と連携した「スマホよろず相談会」や「出張型スマホ教室」を開催し多くの方に参加いただきました。また10月には連合会主催の「子育て支援フェスティバル in 野洲」に会員・職員13名で参加し啓発活動を行いました。田んぼっ湖カフェや新聞折り込み等を通じて普及啓発に努めました。10月に市内4か所(市内スーパー店頭)で街頭啓発活動を実施、11月には田んぼっ湖カフェ「六周年まいどおおきにセール」を開催し、来場者数150名、売上金額201,000円でした。12月に年末企業挨拶(85社訪問)、1月に広報誌「シルバーまいばら」の全戸配布を実施、2月には会員募集チラシを全戸配布しシルバー人材センターの活動を積極的にアピールしました。

(6) 調査研究事業について

9月に稲沢市シルバー人材センター、10月に幸田町シルバー人材センター、12月には守山市シルバー人材センターが来訪され独自事業の展開方法や会員募集についての意見交換をいたしました。

職員に対する研修としては、会計職員調査研究会、中堅職員研修会、フリーランス研修会、近畿管内事務局職員研修会等が開催され積極的に参加いたしました。また職員先進地研修として、岐阜市シルバー人材センターを訪問し、組織の運営方法やデジタル化に対する対応方法等々を学ぶことができました。

(7) 福祉・家事援助サービス推進活動について

高齢者世帯および共働き世帯が増加する中、行政と課題を共有連携し、介護予防・生活支援事業に取り組んでいます。福祉・家事援助サービス推進委員会は年4回開催し、事業計画推進のための課題等を抽出して介護支援活動および会員のスキル向上と女性会員拡大を目的として、料理講習会を3回、清掃講習会、陶芸教室を各1回開催し、また先進地研修として「蒲郡市シルバー人材センター」を訪問し情報交換を有意義に行いました。

(8) 農福連携事業の推進について

農福連携の事業推進のため、行政および関連団体との協議を重ねながら、その可能性を模索してまいりました。事業開拓推進委員会を中心として、先進地研修や県内団体との研修などを通じて課題の抽出等を行ってまいりました。多岐にわたる課題克服のため、継続して検討をしてまいります。

(9) 職業紹介事業について

シルバー事業は、高齢法により高齢者に就業の機会を確保・提供する受託事業を中心に、また同法において就業を希望する高年齢者のために行う職業紹介事業については、令和5年度の実績はゼロでした。

(10) 安定的な運営基盤の確立について

令和5年度の事務局職員構成は、昨年度同様8名体制で運営してまいりました。今後とも将来を見据えた安定基盤を目指すとともに、デジタル技術活用による事務の効率化を強力に推進し、各団体との連携を一層深めつつ組織の強化に取り組みました。

また、シルバー人材センターの組織運営費は、国や市の補助金と事務手数料に依存していることには変わりなく、収支相償を原則とする公益法人の会計制度に沿った運営を行ってまいりました。

(11) 講習会等について

近年、特にお客様から求められるのが就業中のマナーです。今年度は「就業マナー」をテーマに実施いたしました。

人員不足の葉刈り作業の講習会やスマホを使いこなせるための講習会などサービスを意識し、質の向上を図り、就業機会の拡大を目的とした会員や市民を対象にした講習会を実施いたしました。

【参加者数】

【主な講習会】 葉刈り講習会3回、安全運転技能講習会4回、料理講習会3回、スマホ関連講習会9回、清掃講習会、安全教育(新入会員対象)、刈り払い機取扱安全衛生教育講習会、襖張講習会、接遇講習会

(12) ボランティア活動について

令和5年度も、7月と10月のシルバー環境美化の日に、206名の参加を得て市内全域で実施し、ゴミ257袋を回収し市内の美化活動に努めました。特に10月は市内全域と駅周辺で美化活動を実施しました。

また、淡海エコフォスター事業に参加し、5月と9月に天野川尻において会員延32名の参加を得て、草刈り、ゴミ拾い等を行い地域の環境美化に努めました。

(13)いきいきご縁事業・田んぼっ湖カフェ

田んぼっ湖カフェは、シルバー会員の生きがいを育む場として根付きつつあり、カフェでの飲食の提供、マルシェでは会員が育てた新鮮野菜や工芸品、手芸品等を販売し、市民や高齢者が気軽に立ち寄れる居場所づくりにも大いに貢献してまいりました。

他県のシルバー人材センターからは、独自事業について研修に来られ、シルバーのアンテナ基地として啓発を行ってまいりました。

イベントルームにおいては、会員の作品展・即売会、一般の方による展示等も行い、毎月にわたり積極的に開催を行いシルバー人材センターの啓発活動に寄与しております。また、伊吹山の惨状を周知するため、米原市と連携した「ねえ知ってる!?伊吹山の今とこれから」を開催し、同時に「昔遊び」を行い24名の方の参加をいただき、伊吹山の現状の周知と昔遊びを通じて世代を超えた交流ができました。

カフェスタッフ会員30名、マルシェ出店会員60名が日々楽しみながら就業し、来客人数は月平均990名、売り上げも月平均544千円となり、令和5年度の売上額は6,531,885円で前年対比100.7%、来客人数は11,876人となり前年対比101.5%となりました。カフェスタッフ会員は、毎日午前3名、午後2名で活動し、配分金(時給換算)は月平均で322円と過去最高額を更新しました。カフェ材料代の原価高騰もあり運営には大変苦勞しておりますが、毎月メンバーによる運営会議を開催し様々な課題を克服しながら、お客様に喜んでいただくことを一番に一同頑張っております。

今後とも、田んぼっ湖カフェを「シルバーの情報発信基地」とし、地域での憩いの場となるようカフェスタッフ、出店会員、職員一丸となって邁進してまいります。